



■	説教	キリストに従う	……	秦	利器	……	1
	教会の課題	共に考え、協議する「場」を設定することから	……	田部	郁彦	……	2
	旧約聖書に聴く	現代に何を語るか ダニエル書 (3)	……	古賀	清敬	……	3
	信仰問答を学ぶ	歴史の中の信仰問答 (2)	……	渡辺	信夫	……	4
目次	教会、この地とともに⑬	府中中河原教会	……	大石	周平	……	5
	三浦綾子の生涯と作品について (2)	山べにむかいてわれ目をあぐ	……	大石	周平	……	5
		愛の証しの文学 そこに道は始まっていた『道ありき』	……	森下	辰衛	……	6
	こいのにあ	その日、その時を ただ神が知る	……	横溝	義美	……	7
	こいのにあ	牧師就職式を記念して	……	梅村	勉	……	7
	こいのにあ	東京中会日曜学校教師研修会	……	梅村	勉	……	7
		旧約聖書をどのように日曜学校で語るか	……	山川	聡	……	8
		教会ニュース	……			……	8



キリストに従う

イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。
(マルコによる福音書 1章17節)

はた 秦 とし 利 器

洗礼と荒れ野の誘惑を経て、メシアとしての自覚と使命を明確にされた主イエスが最初になされたことは、弟子たちの選任でした。ここに登場する二組の兄弟は、いずれも、主イエスの力強い一言によって、すべてを捨てて主イエスに従いました。それができたのは、主イエスの側に、私たちには想像もできないような深い祈りがあったからです。これは、今日の私たちに対してもそのまま当てはまります。

ペトロとアンデレは網を、ゼベダイの子らも家と仕事を捨てて主イエスに従いました。それは彼らにとって決して簡単なことではなかったと思います。神の選びそのものの内に秘められている奇跡的な力によったとしか考えられません。主イエスが彼らをとらえ、ご自分のものとしてくださったのです。神が、彼らを聖なる目的のために造り変えてくださったのです。私たちも神によって造り変えられたのです。それゆえ、神に従うことができるのです。

ペトロたちは、十字架の主につまずきましたが、主の復活後、改めて新たな召命を受けました。しかし、私たちは初めから主の十字架とそれに基づく永遠の命の約束を知っているのです。十字架による神の赦しが決定的なものであるなら、服従はそれにふさわしいものでなければなりません。私たちは、自分自身を神の目的のために犠牲、救いの実現のために働きたいものです。最初の弟子たちは、後の教会が形づくられる核となりました。私たちも神の国を建設するために、教会に召されているのです。

もちろん、私たちすべてがこれらの弟子たちと同じような形で主に従うことが求められているわけで

はないでしょう。大事なことは、それぞれの立場に応じて、信仰者としてふさわしく生きることです。私たちは、神の救いの業に参加するために、この世から選び分かれたのです。そうであるならば、当然、私たちの生き方は変わってくるはずですが、礼拝を中心とし、絶えず神の御心を問いつつ、自分のなすべき務めを求めていくのです。すべての仕事をなげうってまでとは言わなくても、少なくとも礼拝の時は、神にしっかり心に向け、神の救いの御業のために祈り、自分に与えられている務めを確認し、できる限りその務めを果たしていきたいものです。

神の選びにふさわしく生きるとは、私たちにとって決して容易なことではありません。しかし、神は私たちの弱さを十分ご承知の上で私たちを選んでくださったのです。その主に対して、私たちは心からなる感謝をもって応えていきたいものです。たとえそれがどんなに困難な道であろうとも、私たちの救いのために十字架の死に至るまで神に従順であられた主が、私たちに先立って、私たちを支え導いて下さるのです。それゆえに、私たちは主と共に歩み、主の御業に仕えることができるのです。

私たちはキリストによって救われ、キリストとの交わりの中に人生の最高のものを見出すことができました。そうであるならば、私たち一人一人が、主の招きを真剣に受け止め、主の体なる教会のために心から仕えることです。私たち一人一人が、主の御業のために必要なものを喜んで犠牲、人々を主のもとに導くことに励むなら、教会は必ず生まれ変わります。
(北海道中会教師)